【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】令和2年12月17日(2020.12.17)

【公開番号】特開2019-113875(P2019-113875A)
【公開日】令和1年7月11日(2019.7.11)
【年通号数】公開・登録公報2019-027
【出願番号】特願2019-76153(P2019-76153)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｂ　5/02　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　27/32　(2006.01)
Ｈ０５Ｂ　33/02　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　51/50　(2006.01)
Ｇ０２Ｆ　1/1335　(2006.01)
Ｇ０９Ｆ　9/00　(2006.01)
Ｂ０５Ｄ　5/06　(2006.01)
Ｂ３２Ｂ　7/023　(2019.01)
Ｂ３２Ｂ　27/00　(2006.01)
Ｂ３２Ｂ　23/20　(2006.01)
Ｂ３２Ｂ　27/30　(2006.01)
Ｂ３２Ｂ　27/20　(2006.01)
Ｂ０５Ｄ　7/24　(2006.01)
Ｂ０５Ｄ　3/02　(2006.01)
Ｂ０５Ｄ　3/06　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｂ　5/02　Ｂ
Ｇ０２Ｂ　5/02　Ｃ
Ｈ０１Ｌ　27/32
Ｈ０５Ｂ　33/02
Ｈ０５Ｂ　33/14　Ａ
Ｇ０２Ｆ　1/1335
Ｇ０９Ｆ　9/00　３１３
Ｂ０５Ｄ　5/06　Ｄ
Ｂ３２Ｂ　7/023
Ｂ３２Ｂ　27/00　Ｂ
Ｂ３２Ｂ　23/20
Ｂ３２Ｂ　27/30　Ａ
Ｂ３２Ｂ　27/20　Ｚ
Ｂ０５Ｄ　7/24　３０１Ｒ
Ｂ０５Ｄ　7/24　３０１Ｔ
Ｂ０５Ｄ　3/02　Ｚ
Ｂ０５Ｄ　3/06　Ｚ
Ｂ０５Ｄ　7/24　３０３Ｂ
Ｂ０５Ｄ　7/24　３０２Ｐ

【手続補正書】
【提出日】令和2年10月28日(2020.10.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
透明基材層と、この透明基材層の少なくとも一方の面に形成された防眩層とを含み、６０度グロスが２５％以下であり、透過光の色度ｂ＊の絶対値が１５以下であり、かつヘイズが３０％以上である防眩フィルムであって、前記防眩層が、１種以上のポリマー成分及び１種以上の硬化樹脂前駆体成分を含む硬化性組成物の硬化物であり、かつ前記ポリマー成分及び前記硬化樹脂前駆体成分から選択される少なくとも２つの成分が、湿式スピノーダル分解により相分離可能である防眩フィルム。
【請求項２】
透過光の色度ｂ＊の絶対値が３以下である請求項１記載の防眩フィルム。
【請求項３】
ポリマー成分が、セルロースエステル類及び／又は重合性基を有していてもよい（メタ）アクリル系重合体を含む請求項１又は２記載の防眩フィルム。
【請求項４】
硬化樹脂前駆体成分が、多官能（メタ）アクリレート、エポキシ（メタ）アクリレート、ポリエステル（メタ）アクリレート、ウレタン（メタ）アクリレート及びシリコーン（メタ）アクリレートから選択された少なくとも１種を含む請求項１～３のいずれかに記載の防眩フィルム。
【請求項５】
硬化樹脂前駆体成分が、シリカナノ粒子及び／又はフッ素原子を含む請求項１～４のいずれかに記載の防眩フィルム。
【請求項６】
硬化性組成物を熱又は活性エネルギー線で硬化させる硬化工程を含む請求項１～５のいずれかに記載の防眩フィルムの製造方法。
【請求項７】
支持体の上に、１種以上のポリマー成分及び１種以上の硬化樹脂前駆体成分を含む硬化性組成物を塗布して乾燥することにより、ポリマー成分及び硬化樹脂前駆体成分から選択される少なくとも２つの成分を、湿式スピノーダル分解により相分離させる相分離工程をさらに含み、硬化工程が、相分離した硬化性組成物を熱又は活性エネルギー線で硬化させる硬化工程である請求項６記載の防眩フィルムの製造方法。
【請求項８】
請求項１～５のいずれかに記載の防眩フィルムを備えた表示装置。
【請求項９】
有機ＥＬディスプレイ又は液晶表示装置である請求項８記載の表示装置。
【請求項１０】
透明基材層と、この透明基材層の少なくとも一方の面に形成された防眩層とを含み、前記防眩層が、１種以上のポリマー成分及び１種以上の硬化樹脂前駆体成分を含む硬化性組成物の硬化物であり、かつ前記ポリマー成分及び前記硬化樹脂前駆体成分から選択される少なくとも２つの成分が、湿式スピノーダル分解により相分離可能である防眩フィルムにおいて、６０度グロス、透過光の色度ｂ＊の絶対値及びヘイズを、それぞれ２５％以下、１５以下及び３０％以上の範囲に調整し、防眩フィルムの防眩性及び透明性を向上する方法。